

2019年度 第1回診断評価等基準委員会 議事録

開催日時：平成31年4月18日（木） 6：40～7：40

開催場所：会議センター 3階 316

出席者：川上 守（担当理事）、金森昌彦、金山雅弘、寒竹 司、

佐藤公昭、関口美穂、橋爪 洋、福井 充、細野 昇、和田英路

欠席者：紺野慎一（委員長）、竹内大作

報告事項 なし

議題

1. プロジェクト研究進行状況について

「腰椎変性側弯症の健康関連 QOL 低下に及ぼす X 線学的（脊柱変形）パラメータを

検討する多施設横断研究」（担当：竹内委員）

論文が完成され投稿できる状況まできている。状況の確認をする。（継続審議）

「腰椎変性すべり症に対する手術治療法の有用性に対する JOABPEQ を用いた多施設前向き研究」（担当：寒竹委員）

解析が完了し、現在論文の執筆中。（継続審議）

LSS 疾患特異的アウトカム評価のための症状スケールと QOL スケール検証（担当：

関口委員)

各委員の施設での倫理委員会は、承認または審査中。

データ(承諾書を除く)の回収方法は、1回目と2回目の両者が終了してから、事務局(福島県立医科大学)に送付。

データのトレーサビリティに関する書類の取り交わし。『各委員の施設』対『事務局(福島県立医科大学)』: 関口から各委員に書類を送付

登録状況を毎月確認する(関口よりメールを送付する): 目標症例 500 例(各年代層 100 例/男女)で集積された年代層の偏りを確認しながら症例を集める必要があること、集積が悪い場合には、研究期間の延長をする目安とすることから。

2. JOABPEQ、JOACMEQ 偏差得点の開発の進捗状況について

福井委員が解析し、担当を橋爪先生にさせていただく。

3 の 2 次利用の方針を待ちながらではあるが、解析と論文化は進める。

3. プロジェクト研究(JOA も含めて)のデータを蓄積して再利用する件について

データの 2 次利用について本学の倫理委員会にて確認。日本整形外科学会の倫理委員会の方針に準じる方針であり、方針の提示を待っている状況ではある。当委員会からの要望がある点について、打診する。

4. その他

プロジェクトの提案

Lumbar Stiffness Disability Index (LSDI)の妥当性の検証: 具体的な方向性が決まった段

階にて、本委員会に提案される予定。